

展示室も見てから行ってみよう!

創造館を飛び出して、関連する地を訪ねるシリーズ第五弾。今回は、ユニークな顔面把手付大深鉢が出土した、月見松遺跡を訪ねます。

その⑤ 月見松遺跡

④ ふたつ目の角を左に曲がります。

中央自動車道の上を通り過ぎたら、

沢尻南の信号を直進し、

③ 川北町の信号を駆け上がり、更に直進。

② 室町の信号から、道は国道361号線となります。

① 駅前から北西に向かう道(県道202号)を道なりに進みます。

左前方にお寺(松月寺)と、大きな松の木が見えます。

⑤ 松の木の下に、月見松遺跡についての説明看板があります。遺跡そのものはこの周辺の広い範囲(上記地図のピンクの×印の範囲)であり、隣接して中世や近世の遺跡も存在しています。

月見松遺跡は、創造館から国道361号を經由して、北西へ約3km。車で10分ほどのところにあります。

●2018年、海を渡る顔面把手付大深鉢

1969年の発掘調査で、月見松遺跡より発掘された「顔面把手付大深鉢」は、現在伊那市の有形文化財として、創造館の常設展示室に展示されています。

2018年、東京国立博物館において、07月03日～09月02日に開催される特別展「縄文—1万年の美の鼓動」に、この「顔面把手付大深鉢」が、御殿場遺跡出土「顔面付釣手形土器(国の重要文化財)」とともに、展示されます。更にその後、「ジャポニスム2018」の一連の展覧会として、フランス・パリの日本文化会館で、10月17日～12月08日に開催の「縄文展」にも出品。

伊那市の「縄文」が世界の注目を集めています!!!

降るとまで人には見せて花曇。うららかな春の日差しが、心地よい今日このごろです。

伊那市創造館マスコットキャラクター

伊那市創造館 INA-CITY SOUZOU-KAN

〒396-0025 伊那市荒井 3520 番地
Tel:0265-72-6220 Fax:0265-74-6829
Mail:szk@inacity.jp

※ お車でお越しの方は、「いなっせ駐車場」をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。

顔面把手付大深鉢は、目は柿の実状でつり上り、口は丸く開いていて、すこし上向き鼻をもつ、あどけない表情の顔面です。

Apr, 2018